

## 東京相撲で活躍した押野出身の力士

ひびきますいちたろう

**響 升市太郎** (1859~1908?)

響升市太郎は、東京相撲で活躍した力士です。本名は清水市太郎  
といい、1859 年(安政6)押野村に生まれました。

身長 172cm、体重 114 kgの恵まれた体格をもっていたことで、  
相手の胸に右手を当てての強烈な押し切りを得意としました。豪快  
な性格のうえ酒を好み、酒量は6升(約 10.8 升)にも及んだとさ  
れています。

1892 年(明治 25)には関脇まで昇進しましたが、1899 年(明  
治 32)に引退しました。顕彰碑の碑文では 38 歳で病死とありま  
すが、1912 年発行の『加越能力士大鑑』では、「4 年前に 50 歳  
で死亡」と記しています。



せきわけひびきますにしき え  
関脇 響升 錦絵

(石川県立歴史博物館所蔵)

せきわけひびきますけんしょう ひ  
関脇 響升 頭 彰 碑

響升が亡くなった後、押野村の有志や消防組が、郷土出身の力士



を後世まで残すために建てた石碑です。石碑は、長年の風雪などによって損傷が著しくなったため、1972年（昭和47）押野地区の有志によって、新しい頭彰碑が建てられました。この両石碑は、現在押野の<sup>たかみむすび</sup>高皇産霊神社境内に並んで建っています。

東京相撲 明治26年春場所 幕内取組表

東				西			
横綱	西ノ海	○●○●○●○●や 知音平鞆高司谷達大 恵羽ノノノ天ノノ戸 矢山戸平戸竜音矢平	6勝3敗				
大関	小錦	○●○●○●○●●や 鳳平音高大谷司大達 ノ羽ノノ天戸ノ 鳳戸山戸泉音竜平矢	7勝2敗	大関	大戸平	△○○○○○○○○や 大大今出外千朝小西 蛇羽ノ年ノ 碓湯泉海海川汐錦海	8勝0敗 1預
				張出大関	八幡山	○やややややややや 高大 浪碓	1勝0敗
関脇	朝汐	○●○●○●○●×や 平鳳鬼大司高大鞆谷 ノ鹿天ノ戸ノノ 戸鳳毛泉竜戸平平音	7勝1敗 1分	関脇	達ノ矢	○●●△○●○●○や 大大大外千響若西小 蛇ノ年ノ 渦纏碓海川舛湊海錦	5勝3敗 1預
小結	響舛	○●●○●○●×●や 音知鳳平鬼達大司高 羽恵ノ鹿ノ天ノ 山矢鳳戸毛矢泉竜戸	5勝3敗 1分	小結	大砲	ややややややややや	全休

(前頭以下省略)

※ 響升は明治25年夏場所に関脇に昇進したが、休  
が多く次の26年春場所では小結となった。